

研修名 京都式キャリアパスモデルについて（マネジメント）

平成29年8月4日（金）10:00～16:00

講演 「保育園・こども園におけるマネジメントの現状と課題」
「働きやすい環境づくり」
「京都式キャリアパスモデルについて」

講師 株式会社エイデル研究所 小林 雄二郎 氏



1 講演要旨

・「マネジメント」の必要性について

マネジメントの基本原則

保育園の現状の理解と課題

課題を改善するポイント

成果とは何か 成果を上げる為の方法

・グループディスカッション

あなたにとっての顧客は誰かとその人にとっての成果を考察

・基本理念とは

基本理念の大切さ

理念から計画へ具現化に向けた取り組み

役割分担の明確化

・働きがいと働きやすさについて

働きがいの要因

働きづらさの理解



・キャリアパスについて

キャリアアップの仕組みの構築に至るまでの背景について

保育士等のキャリアアップの仕組み・処遇改善のイメージ

保育士等のキャリアアップの仕組み・導入後の職制階層のイメージ

・グループディスカッション

保育士に求められる能力を考える

階層と役割 求められる業務の把握

階層別に分類

2 感想

社会福祉サービスの特質として「人対人」の現場ではマニュアルでカバー出来る範囲には限界があり、個人の判断で決定しなければならない問題も出てくる。その場合、園の基本理念をしっかりと理解した上であれば自分なりの判断も明確になってくる。又、園全体が目指す方向を明確にし、理念のイメージと自らの役割を全職員が認識する。そして、そこへ向かう事を目的に目標を設定することが大切であることを再認識させられたと同時に保育士の責任の重さと職員の共通認識の重要性を感じた研修であった。

(記録 ルンビニ保育園 山口 佳代)

